

現場ユーザー様の声

自分のパソコンから指示を出し、部門のプリンターに出力できるのですぐ楽になりました。



商品I部 G1 担当 DB
糸賀 律子 様

毎週136店舗へのプライスカードを発送していますが、従来は、自席から情報システム部に電話で依頼して、情報システム部で出力してもらっていました。そのため、依頼から出力帳票を受け取るまでに時間がかかっていました。今は、自分のパソコンから印刷を指示して、目の前のプリンターに、すぐに出力できるので楽になりました。出力量が多い時は、システム部門から台車で運ばなくてはならないほどプライスカードが大量になることもありますが、近くで印刷ができるようになったことや、休日などで情報システム部が不在の時でも印刷が可能となったので、大幅な作業時間の短縮と作業負担の軽減となりました。

プライスカードそのものについても、いままでは連続帳票だったので、店舗ごとに手で切り分ける必要がありました。現在はA4用紙が1枚ずつ出てくるので、切り分けの手間もなくなり時間短縮になっています。また、文字のサイズも大きくなったり、お客様にも見やすくなったりと思います。



商品部に設置されたIPSiO SP 9100Pro

Printing Innovation

Case Study

基幹系出力環境改革

Vol.3

株式会社 ジュンテンドー 様

帳票プログラムの改修をせず
全帳票をA4カット紙に統一
運用コスト約25%削減を実現した
新出力環境の構築



株式会社 ジュンテンドー 様

- 本社所在地：島根県益田市下本郷町206番地5
- 設立：1948年6月
- 資本金：42億2,425万円
- 拠点：営業本部(広島県安芸郡)、研修センター(島根県益田市)
- 従業員数：687名(契約社員・パート社員・アルバイトは除く)※平成25年2月末現在
- 事業内容：住関用品を中心に提供するホームセンター「ジュンテンドー」を主力に、カー用品専門店「イエローハット」、ドラッグストア「サンデーズ」、ブックセンター「ジャスト」をチェーン展開する小売業

URL : <http://www.juntendo.co.jp>



※IBM System iは、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社
東京都中央区銀座8-13-1リコビル 〒104-8222

<http://www.ricoh-japan.co.jp/>

課題



帳票出力業務を分散化し
出力業務と帳票配布をスピーディーに



コストを抑え、ノンストップで
出力できる環境の実現



カット紙環境への移行をスムーズに推進



解決



利用部門での出力環境を構築
情報システム部門の負荷軽減と
迅速な出力を実現



前出力環境構築時の約8割の投資で
プリンター2台体制を構築
障害発生時も止まらない環境を実現



Mapping Suite導入により帳票設計を内製化
帳票開発費用を削減し
設計の柔軟性向上を実現



従来のプログラム資産を継承しながら 利用現場で簡単に出力が行えるソリューションを提案

お客様プロフィール

地方都市、中山間地、離島の なくてはならないインフラを目指す

株式会社 ジュンテンドー様は、「地方都市、中山間地、離島のなくてはならないインフラになろう」を経営理念に、西日本においてホームセンター 136 店、カー用品販売 4 店、ドラッグストア 8 店、ブックセンター 6 店を開設されています。

同社のシステム部門では、システムの開発・運用だけでなく、商品部門からホームセンター「ジュンテンドー」店舗用のプライスカードの出力、経理部門から取引先への支払明細書などの帳票出力なども行ってきました。

背景と課題

大量の帳票印刷が システム部門の大きな負担に 業務改善と TCO 削減に向けて 帳票の PDF 化と A4 単票化を推進

ジュンテンドー様では、商品部門からの依頼で、商品のプライスカードを月間約 10,000 ページ、売価変更伝票を月間約 12,000 ページ、さらに経理部門からの依頼で、取引先に発行するお支払明細書を月間約 6,500 ページ出力されています。このほか、全部署に配布する販売管理月報・週報、月間約 6,000 ページの出力も行われています。

「従来これらの伝票は、すべて連続帳票であり、連帳レーザープリンター 1 台で対応していました。帳票の掛け替えは単純作業ではないため、プリンターはシステム部門に設置し、帳票の出力から仕分けまでの一連の作業を私の部門で行っていました。また帳票の種類を変えると、プリンターを再起動するのに 15 分程度かかることが問題でした」(安達様)。



情報システム部 システム開発運用総括担当
小林 和弘 様



情報システム部
安達 隆浩 様

保守終了にともない、業務改善に向けた基幹システムの出力環境再構築に着手されました。

「プリンターの障害発生時に、1台体制だと業務停止が発生するので、複数台体制で運用したいと考えていました。また、帳票データの PDF 化を取り入れることで、専用用紙を A4 カット紙に統一することも考えていました。お支払明細書を電子帳票として保存すれば、伝票番号などのキーワードを入力するだけで検索することが可能になりますし、書類を保存する場所も必要なくなります。さらに、出力紙を A4

に統一することで、印刷環境の可用性が向上し、消耗品や専用帳票のコスト削減も図ることができます。再構築への投資については、プリンター本体の購入費とあわせ、保守料などの運用費用など、TCO 削減も図りたいと考えました」(安達様)。

「Print Linkage については、どちらのプリンターを使用するかといった指定をはじめ、排出先トレイや、両面・片面印刷の指定などが行え、プリンターの機能を十分に引き出せることが採用した理由です。従来は 1 台のプリンターで対応していましたから、出力先は 1 力所で、用紙替えの手間もありました。Print Linkage は用紙切れやトナー交換などもメールで知らせてくれます。障害時の対応を考えてプリンター 2 台体制にしましたが、最悪の場合でも Windows 対応のプリンターであれば、どこのプリンターでも印刷することができます」(小林様)。

IPSiO SP 9100Pro 導入においては、リコー検証センターでのサポートについて評価をいただきました。

「プリンターの決定に当たって、いちばん懸念した点は、プライスカードや売価変更伝票など、ミシン目の入った特殊用紙を、高速で大量印刷が可能かという点でした。そこで、リコー検証センターで、実際に使用す

そこで同社では、連帳レーザープリンターの

る帳票 2,000 ページを印刷してもらい、十分な検証の結果、不安を払拭した上で導入となりました」(小林様)。

導入の効果

新出力環境によって 運用効率が向上し、TCO 削減にも貢献 帳票設計の操作性向上による 顧客視点の帳票を実現

Mapping Suite と Print Linkage、そして IPSiO SP 9100Pro の連携により、業務の効率化だけでなく、よりお客様視線に立ったプライスカードの改善なども進められています。

「帳票の出力に関しては、スプールができると Mapping Suite が検知して PDF を自動生成し、さらに PDF が生成されると、できあがったフォルダーを Print Linkage が検知して、印刷を自動的に開始するという流れになっています。2 台の IPSiO SP 9100Pro に、大量給紙トレイを付けて弊社の用紙で 3,000 枚セットできるようになりました。1 台にプライスカード、もう 1 台に売価変更伝票をセットしておけば、夜間に出力しておくことも可能です。従来のプリンターは 1 台で、1 回に 2,000

枚程度しかセットできず、またシステム部門で帳票を掛け替える必要がありました。現在は、出力作業はすべて現場で行えるようになっています。また、TCO 削減の面でも、従来の出力環境構築と比較すると、導入費は約 18%、運用費については約 25% も削減することができました」(小林様)。

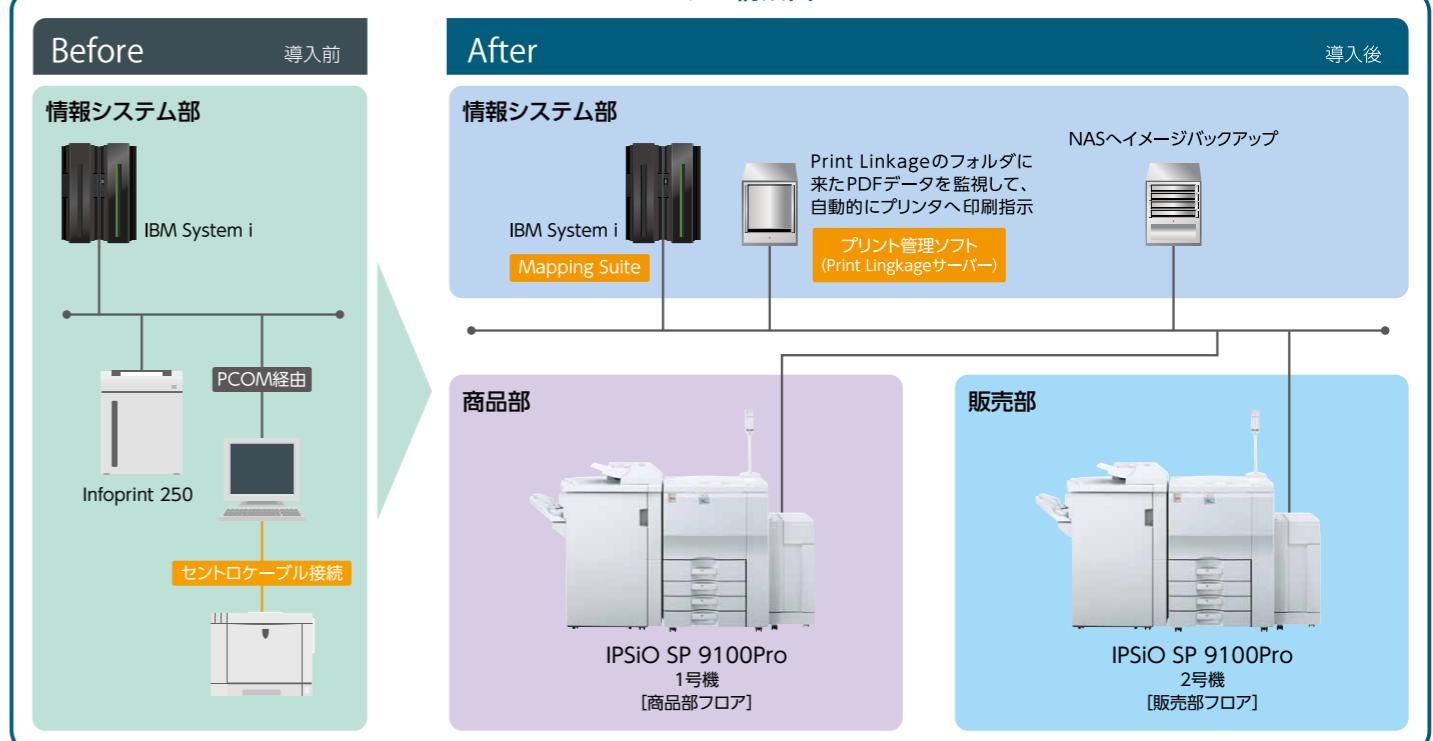
「帳票の設計が容易に社内で行えるようになったことも、社内に波及効果を及ぼし始めています。2014 年 4 月からの消費税対応が全社的なイベントになっており、これにともないプライスカードの改善が進められています。外部に依頼しなくても、社内で容易に帳票設計を変更できるようになったので、『表示項目を増やしてほしい』『バーコードはお客様には関係ないので小さく表示したい』といった要求に応えられるようになりました」(安達様)。

今後の課題

店舗や経理部門などを含む 全体最適化を推進

ジュンテンドー様では、136 店舗のホームセンター や、島根県益田市にある経理部門を含む、全体最適化を図っていこうとお考え

システム構成図



になっています。

「プライスカードや売価変更伝票は、現在、こちらで出力して、店舗に配送していますが、店舗で出力できれば、より業務効率が改善されると思います。また、経理部門（島根）にもプリンターが設置されていますが、数百ページになると、こちらの営業本部（広島）で打ち出して送付するケースもあります。これも本社経理部門で出力できるようになれば、送付のための時間を節約できるようになります」(小林様)。

「今回は帳票の PDF 化を進めましたが、帳票以外の書類についても PDF 化を進めたいと考えています。従来は帳票などが複雑で、画面上ではチェックできなかったため、出力する必要がありました。今後は、PDF データで検索や確認をできるようにして、ペーパーレス化を図っていきたいと考えています。当社は 1 人あたり 1 台パソコンがあるので、PDF 化によるペーパーレス化を進めることも容易だと考えています」(安達様)。